

令和6年12月4日



大雪時の道路交通確保の対策方針 ～関係5者※合同で説明～

○内容：

冬期に各地で大雪に伴う道路上の車両の大規模な滞留が発生し、その対応に長時間を要する事態が予想されます。この冬を迎えるにあたり、人命を最優先に大規模車両滞留を回避する目的で、雪氷期における道路交通確保に向けた様々な取り組みを強化します。併せて、道路利用者や地域住民の皆様には「外出の自粛」などの協力を呼びかけます。

※関係5者（中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方気象台、NEXCO中日本、名古屋高速道路公社）

○日時：令和6年12月4日（水）15：00～

○場所：愛知県政記者クラブ会見場

○資料：資料1、資料2、資料3、資料4、資料5

○配布先：中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、東海交通研究会、
中部経済産業記者会、名古屋市政記者クラブ

○説明者：

- ・ 中部地方整備局 道路部 道路情報管理官 ふじやま かずお 藤山 一夫
- ・ 中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理課 課長 やぎ ひでのり 八木 英規
- ・ 名古屋地方気象台 気象防災情報調整官 よしむら かおり 吉村 香
- ・ NEXCO中日本 名古屋支社 保全・サービス事業部 企画統括課 担当課長 いませ あつき 今瀬 敦規
- ・ 名古屋高速道路公社 交通管理部 交通管理課 担当課長 さかと しょうじ 坂戸 祥治

○問い合わせ先

○中部地方整備局 道路部道路管理課 課長 ふなはし くにあき 舟橋 邦顕

課長補佐 かわしま けん 川島 謙

TEL: (052) 953-8176

○中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理調整官 こまつ だ はじめ 小松田 始

安全防災・危機管理課 課長 やぎ ひでのり 八木 英規

TEL: (052) 952-8049

○名古屋地方気象台 広域防災管理官 おおや とおる 大矢 徹

気象防災情報調整官 よしむら かおり 吉村 香

TEL: (052) 751-5124

○NEXCO中日本 名古屋支社 総務企画部 広報・CS課

TEL: (052) 222-1183

○名古屋高速道路公社 総務部 広報課 課長 かみむら けんいちろう 上村 健一郎

TEL: (052) 919-3236

今冬の気象等について

- ・ 11月28日発表の1か月予報
- ・ 11月19日発表の3か月予報
- ・ 気象台が提供する予測資料と気象情報

名古屋地方気象台

はじめに 季節予報について

- 季節予報は、天候の予報です（天気予報とは異なります）
- 天候とは、ある地域の、数日以上の平均的な天気の状態をいいます
- 予報の内容は、平年の気候に近いのか？ それとも隔たるのか？です
- 平年の気候は、1991～2020年の30年間の平均としています（10年毎に更新）

※気候=長い期間(通常は数十年間)の大気の総合した状態を気候という

- 予報要素としては、気温・降水量(=1および3か月予報)・日照時間(=1か月予報のみ)

- 季節予報では、3つの階級それぞれが実現される確率を予報します

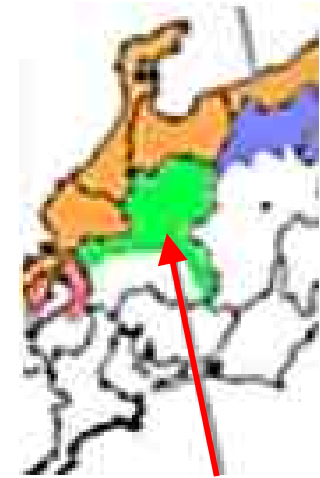
※階級 = 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

- 気温であれば、30年間のデータを小さい順に並べて
下位10個の範囲を「低い」、上位10個を「高い」、中間の10個を「平年並」
というように階級を用意して、平年に「近い or 隔たる」を表現します（下図）
- 天候表現も同様で、「平年」との隔たりを予報します
例えば、「平年と同様に」「平年に比べ〇〇の日が多い(少ない)」など



○岐阜県山間部

(美濃地方山間部と飛騨地方、
12月～3月の予報が対象)



東海地方1か月予報（令和6年11月28日発表、予報期間：11月30日～12月29日）

【予報のポイント】

- ・気温は、1週目は寒気の影響を受けにくいため高く、2週目は寒気の影響を受けやすいため平年並か低いでしょう。このため、期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。
- ・低気圧の影響を受けにくいため、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

【向こう1か月の天候】

- ・平年に比べ晴れの日が多いでしょう。岐阜県山間部では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

【向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間】



【週別の天候と平均気温】

		1週間 11/20～11/26	2週間 11/27～12/3	3～4週間 12/4～12/10
天候	東海地方	低気圧の影響を受けにくい ため、平年に比べ晴れの日が 多いでしょう。岐阜県山間部 では、平年の高圧気圧となり やすいため、平年に比べ曇り や雪の日が多いでしょう。	東海地方の影響を受けにくい ため、平年に比べ晴れの日が 多いでしょう。岐阜県山間部 では、平年の高圧気圧となり やすいため、平年に比べ曇り や雪の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雪の日が 多いでしょう。岐阜県山間部 では、平年と同様に曇りや雪 または雨の日が多いでしょう。
	平均気温	約20℃ 高30% 高30%程度	約10℃ 高40% 高30% 平年並み程度	約10℃ 高30% 高30% ほぼ平年並み程度
平均気温	東海地方			
	図表は予報された天候（確率）です			



※気象庁ホームページ
東海地方1か月予報のURL

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=230000&term=1month

東海地方3か月予報（令和6年11月19日発表、予報期間：12月～2月）

【予報のポイント】

・向こう3か月の降水量は、低気圧の影響を受けにくい時期があるため、平年並か少ないでしょう。

【補足事項】

・12月の予報については、新しい資料による1か月予報を適宜ご利用ください。
 ・また、寒候期予報として発表していたこの冬（12～2月）の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

【向こう3か月の平均気温・降水量】

	平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）
東海地方	低30 高40 高30% ほぼ平年並の範囲	少40 並40 多20% 平年並か少ない範囲

【月別の天候】

12月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。岐阜県山間部では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。
1月	・低気圧の影響を受けにくいため、平年になく晴れの日が多いでしょう。岐阜県山間部では、冬の気圧配置が強まる時期があるため、平年になく曇りや雪の日が多いでしょう。
2月	・平年と同様に晴れの日が多いでしょう。岐阜県山間部では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。

【月別の平均気温・降水量】

	平均気温 12月	平均気温 1月	平均気温 2月
東海地方	低30 高40 高30% ほぼ平年並の範囲	低40 並30 高30% ほぼ平年並の範囲	低30 並40 高30% ほぼ平年並の範囲
	降水量 12月	降水量 1月	降水量 2月
東海地方	少40 並40 多20% ほぼ平年並の範囲	少40 並40 多20% 平年並か少ない範囲	少40 並30 多30% ほぼ平年並の範囲



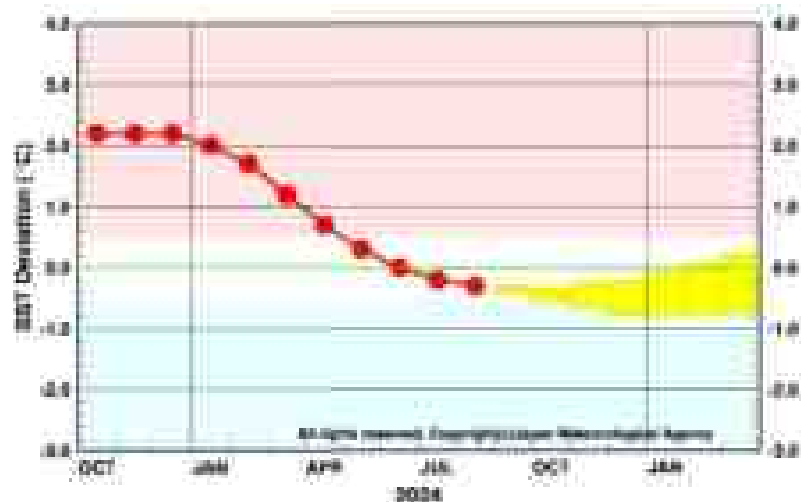
※気象庁ホームページ
 東海地方3か月予報のURL

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=230000&term=3month

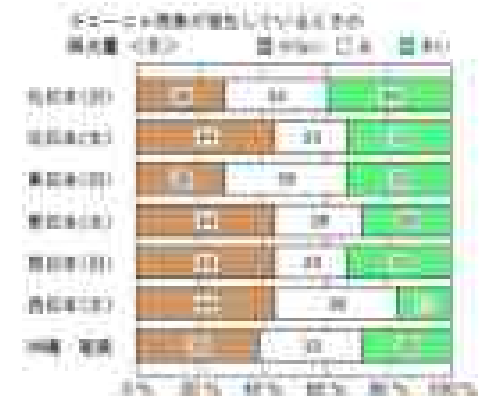
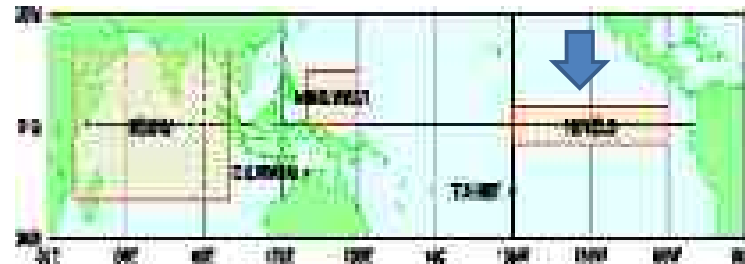
エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測

11/11発表 エルニーニョ監視速報（No.386）より

- 平常の状態と見られるが、ラニーニャ現象時の特徴が明瞭になりつつある。
- 今後、冬にかけてラニーニャ現象時の特徴が明瞭になるが、春までは続かないため、ラニーニャ現象の定義を満たす可能性もある（40％）が、平常の状態が続く可能性の方がより高い（60％）。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値



ラニーニャ現象の冬季の天候への影響

気象庁ホームページより

https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/el_nino/learning/faq/whatiselnino3.html#2

（ラニーニャ現象発生時の日本の天候の特徴）

https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/db/el_nino/learning/tenkou/nihon_month.html?phenom=2

天候の特徴
統計的に有意な傾向はないが、全国的に高温の傾向は小さい。

東海地方の天候の特徴
統計的に有意な傾向はないが、高温、多雨、寡少の傾向は小さい。

この期間（12～2月）の注意点等（東海地方）

- **この期間**は、気温は、ほぼ平年並の見込み。
1月を中心に、寒気の影響を受けやすい時期がある。
- **降水量**は、冬型の気圧配置が強まり、低気圧の影響を受けにくい時期があるため、平年並か少ない見込み。
- **降雪量**は、岐阜県山間部では、降雪量は平年並が多い見込み。
- 一時的に強い寒気が入って日本海側を中心に大雪となる可能性がある。交通への影響や農業施設等の管理に注意するとともに、最新の気象情報等に留意してください。

気象台が提供する予測資料

昨冬の気象資料

雪に対する道路利用者への呼びかけ 令和5年12月19日

- ✓ 21日から22日頃にかけて、冬型の気圧配置が強まり、日本の上空には強い寒気が流れ込む見込みです。このため、岐阜県の山地を中心に断続的に雪が降り大雪となる見込みです。22日頃は、東海地方の平地でも積雪となる所がある見込みです。
- ✓ 上空の寒気や冬型の気圧配置の強まりの程度によっては、警報級の大雪となるおそれがあります。
- ✓ 大雪や路面凍結による交通障害に注意・警戒してください。
- ✓ 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合は、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

今後の気象見通し

地域	20日	21日	22日	23日
岐阜県府内地方		←→	←→	
岐阜県東濃地方		←→	←→	
愛知県				
三重県				
静岡県				
長野県南部				

←→ 警報級の大雪となる可能性のある期間

【気象概況と今後の予想】

○21日から22日頃にかけて、冬型の気圧配置が強まり、日本の上空に強い寒気が流れ込む見込みです。

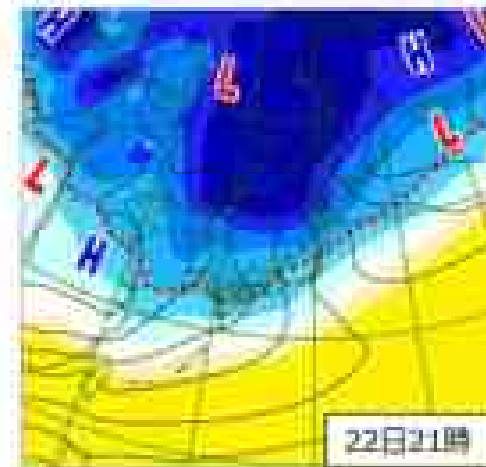
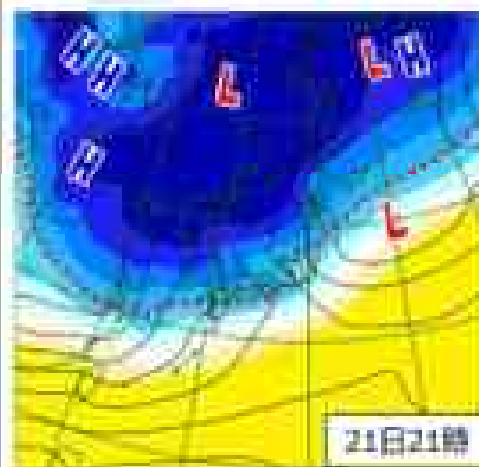
○19日12時から20日12時までの24時間降雪量は、多い所で、
岐阜県 5センチ 三重県 1センチ

○20日12時から21日12時までの24時間降雪量は、多い所で、
岐阜県 20から40センチ 長野県南部 1から5センチ

○21日12時から22日12時までの24時間降雪量は、多い所で
愛知県 1から5センチ 岐阜県 40から60センチ
三重県 1から5センチ 長野県南部 10から20センチ

※降雪量が見込まれない場合は省略

地上予想天気図と850hPaの気温予想（着色）



上図は1500mの気温-9℃（平均で大雪となる目安）

【最新の気象情報】

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

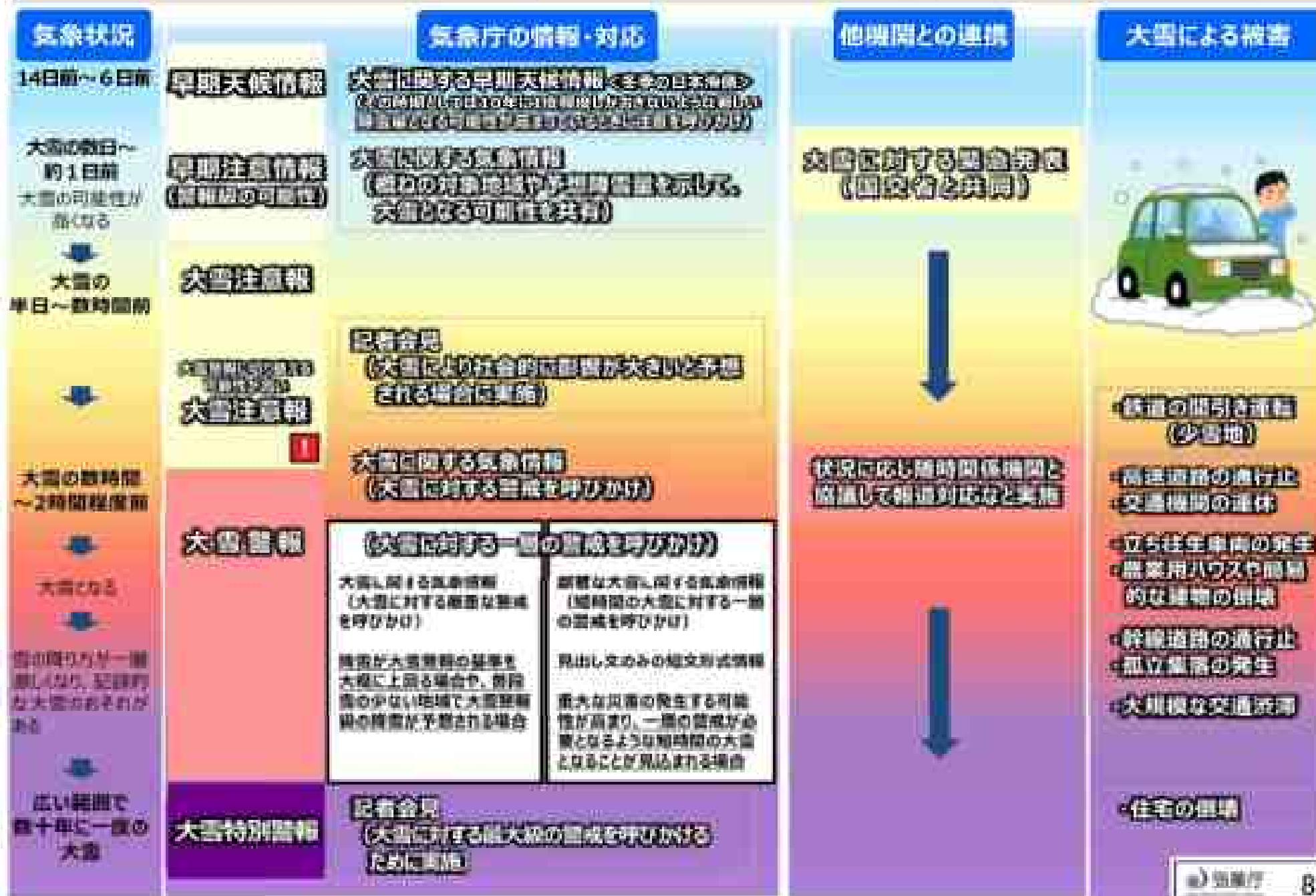


【今後の雪（降雪短時間予報）】

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>



大雪のおそれに応じて段階的に発表される気象情報と対応



大雪警報・注意報基準（東海4県と長野県南部）

府県予報区	一次細分区域	市町村等をまとめた地域	警報基準（12時間降雪の深さ：c m）		注意報基準（12時間降雪の深さ：c m）	
岐阜県	美濃地方	岐阜・西濃	平地：20	山地：50	平地：10	山地：30
		東濃	平地：20	山地：20	平地：10	山地：10
		中濃	平地：30	山地：50	平地：10	山地：30
	飛騨地方	飛騨北部	平地：30	山地：50	平地：20	山地：30
		飛騨南部	30		20	
愛知県	西部	尾張東部	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		尾張西部	10		5	
		知多地域	10		5	
		西三河南部	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		西三河北西部	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
	東部	西三河北東部	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		東三河北部	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		東三河南部	10		5	
三重県	北中部	中部	10		5	
		北部	20		5	
		伊賀	10		5	
	南部	伊勢志摩	10		5	
		紀勢・東紀州	10		5	
静岡県	中部	中部南	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		中部北	20		10	
	伊豆	伊豆北	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		伊豆南	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
	東部	富士山南東	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		富士山南西	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
	西部	遠州北	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
		遠州南	平地：10	山地：20	平地：5	山地：10
長野県	南部	上伊那地域	20		10	
		木曽地域	20		10	
		下伊那地域	20		10	

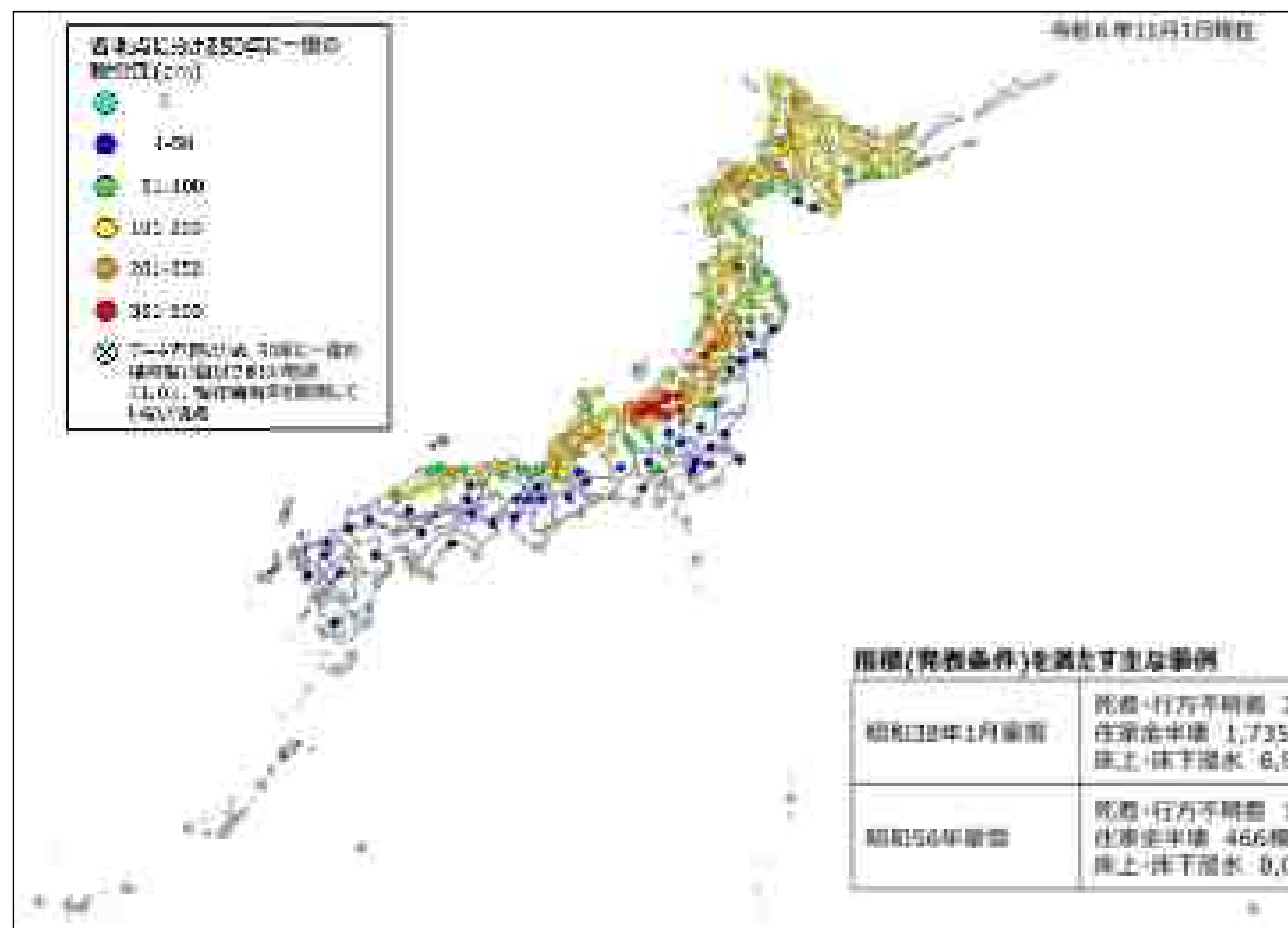
大雪特別警報の発表基準

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表



具体的には

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も
警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表



主な地点の50年に一度の積雪深(㎝)
(令和6年11月1日現在)

高山:110
白川:340
岐阜:41
名古屋:23*
津:12*

*が付いている地点は積雪深ゼロの年も
あり、50年に一度の値の信頼性が低いの
であくまでも参考値。

大雪(発表条件)を満たす主な事例

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者 231人 住家全半壊 1,735棟 床上・床下浸水 6,978棟
昭和54年豪雪	死者・行方不明者 152人 住家全半壊 466棟 床上・床下浸水 8,097棟

令和6年度 大雪時の道路交通確保の対策方針

関係5者 合同記者説明会

令和6年12月4日(水)



国土交通省

中部地方整備局 中部運輸局



名古屋地方気象台



① 大雪時の道路交通確保に対する考え方

- ・人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する
- ・社会経済活動への影響を最小化するため「集中除雪による早期開放」に努める

② 予防的通行規制区間の通行止め

- ・道路に雪が積もっていない状態でも通行止め(予防的通行規制)を行うことがあります
- ・通行規制中に集中除雪を行う事で早期解放を目指します

③ 高速道路との同時通行止め

- ・高速道路と並行する国道などの同時通行止めを実施します
- ・国道での降雪がない場合でも並行する高速道路と一緒に通行止めを行うことがあります

④ 道路利用者等への情報提供

- ・大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回※を要請する情報を提供します

3日前～ 大雪が予測されるため外出の自粛、広域迂回※を呼びかけ

数時間前～ 通行止め区間、日時、迂回経路※などの情報提供

※降雪の範囲が広い場合等は全面的に通行止めとなり広域迂回も不可能な場合があります

⑤ 道路利用者へのお願い

- ・ドライバーや荷主企業のみなさまへ「出控え」、「運行経路の変更」、「運行の中止」をお願いします
- ・マスコミ各社におかれましても周知にご協力をお願いします

①大雪時の道路交通確保に対する考え方

- ・人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する
- ・社会経済活動への影響を最小化するため「集中除雪による早期開放」に努める

○令和6年1月、名神高速道路において、約1200台の大規模な立ち往生が発生し、車両の移動および通行止め解除に最大34時間を要しました。



スタック車両による大規模滞留



自衛隊約300名により車両救出のため人力除雪

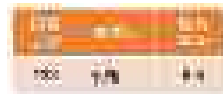
② 予防的通行規制区間の通行止め

- 「予防的通行規制区間」は、大雪時に急な上り坂などで立ち往生が起こりやすい区間です。
- 立ち往生等により交通障害が拡大するおそれがある場合、早い段階で通行止めを行い、集中的・効率的な除雪作業を行う事で早期解放を目指します。
- 予防的通行規制区間以外でも、降雪予測等により通行止めを行うことがあります。

＜予防的通行規制区間＞

番号	路線番号	箇所名	延長(km)
①	19	内津峠	1.1
②	19	横ヶ根	1.5
③	19	中津川	3.9
④	21	次月峠	4.4
⑤	21	山中峠	4.7
⑥	41	坂ノ東	0.9
⑦	41	数河峠	16.6
⑧	41	吉ヶ原	11.7
⑨	E67	中部縦貫自動車道 (高山IC～飛騨清見IC)	15.2
⑩	1	箱根	3.7
⑪	E70	伊豆縦貫自動車道 (園南塚IC～沼津関宮IC)	16.8
⑫	E70	伊豆縦貫自動車道 (大平IC～月ヶ瀬IC)	5.5
⑬	52	内房	6.9
⑭	138	須走	5.3
⑮	139	朝霧	22.1
⑯	246	小山	6.2
⑰	E69	三遠南信自動車道 (鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)	13.0
⑱	153	明川	12.3
⑲	153	大野瀬	9.5
⑳	1	鈴鹿峠	4.6
㉑	E25	名阪国道 (亀山IC～針IC)	56.2
㉒	42	多気	1.1
㉓	42	大台・大紀	16.5
㉔	42	荷坂峠	3.6
㉕	42	矢ノ川峠	11.5
㉖	19	木曾町内	8.2
㉗	19	木曾北部	24.0
㉘	153	治部坂峠	7.2
㉙	E69	三遠南信自動車道 (飯田山本IC～飯田上久保・飯田富田IC)	14.4
合計			308.6

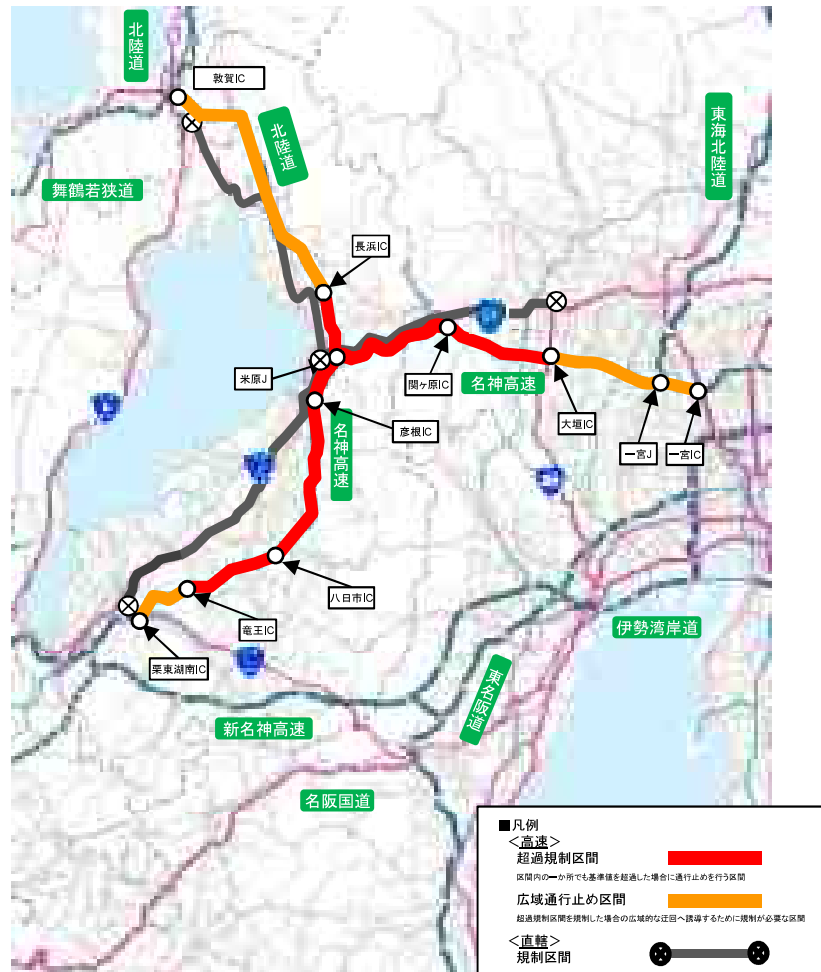
＜チェーン規制区間＞ ※スタッドレスタイヤのみではNG



③ 高速道路との同時通行止め

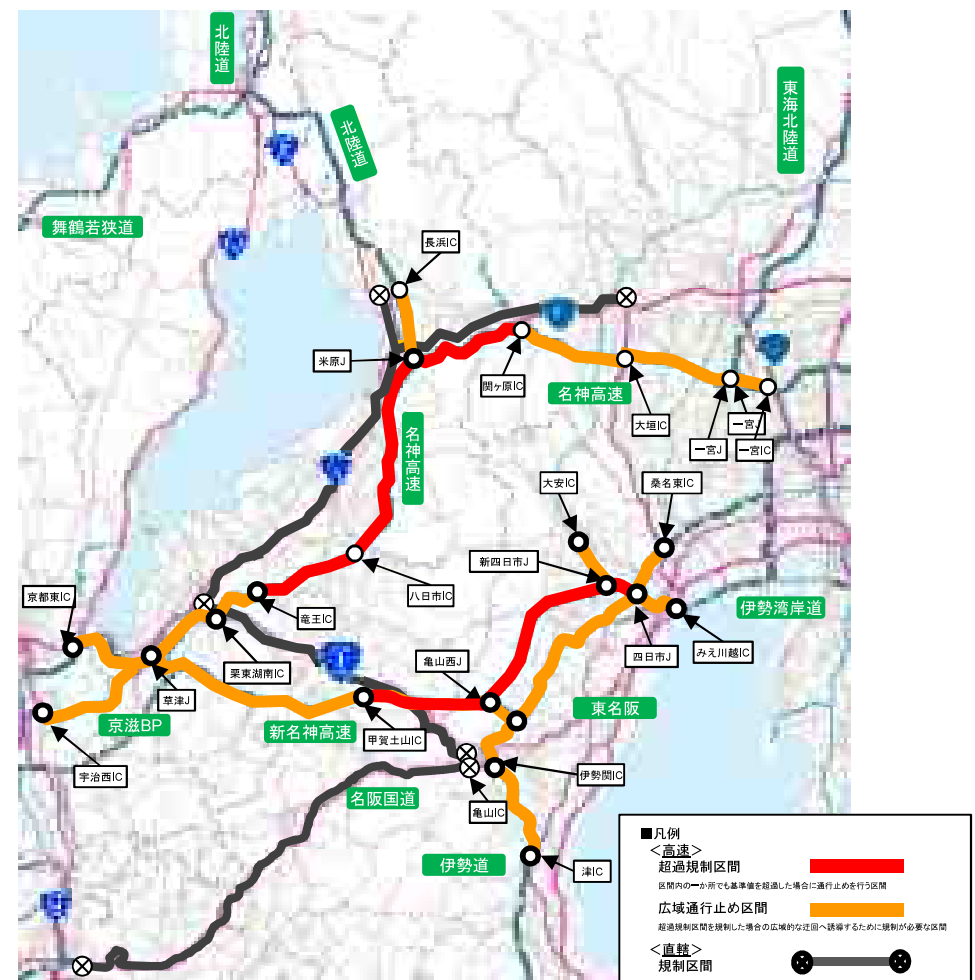
- ・ 高速道路が通行止めとなった際、並行する国道への交通集中による除雪作業の遅延を避けるため、高速道路と並行する国道などの同時通行止めを実施し、集中的・効率的に除雪作業を実施することで、早期解放を目指します。
- ・ 国道での降雪がない場合でも並行する高速道路と一緒に通行止めを行うことがあります。

■ 高速道路と国道の同時通行止め（イメージ）



■ 高速道路と国道の同時通行止め（イメージ）

～降雪状況によっては東西軸が寸断する事があります～



- ## ■大雪予報の3日前

- ・大雪が始まる見込み日付け(○日～)
- ・大雪が見込まれる地域
- ・大雪による通行止めが想定されるエリア

国土交通省



○24日から25日頃にかけて、仙臺を中心とする地域に雪が降り、大雪となる所がある見込みです。また、東海地方の平地でも積雪となる所がある見込みです。【気象：】

○降雪状況によっては、降雪等のために通行止めにする場合があります。

高幹街道（[第3節2](#)）を中心に通行止めを行う場合があります。

高遠道路（[第3節4](#)）のTweeDや日本ドライブ・サイトをご確認ください。

ちびる高道（[第3節5](#)）の「ちびる高遠道路の道路情報」をご確認ください。

■通行止めの数時間前

- 大雪が始まる見込みの日時(○日○時頃～)
- 通行止めが想定される区間

国土交通省



大雪の影響により、近畿・中部地方の高速道路及び国土交通省が管理する直轄国道において、1月23日（火）夕方から通行止めの可能性が
あります。

○1月23日から25日頃にかけて、福井県及び近畿地方の北部及び岐阜県山間部で大雪となるおそれがあります。この影響により、別紙1のとおり、近畿・中部地方の新交通路及び国土交通省が管理する有料道路において、通行止めを行う可能性があります。

- 過去の大雪では、**車両の立ち往生が発生**
- **冬用タイヤの装着、チェーンの携行・早めの装着、スコップや砂等の冬用装備の携行を**
- **出控え、広域迂回の実施、運行計画の見直しを**



名阪国道での積雪による滞留
R5.1.24 21時頃



国道21号での積雪による滞留
R6.1.24 18時頃

⑤道路利用者へのお願い(2/2)

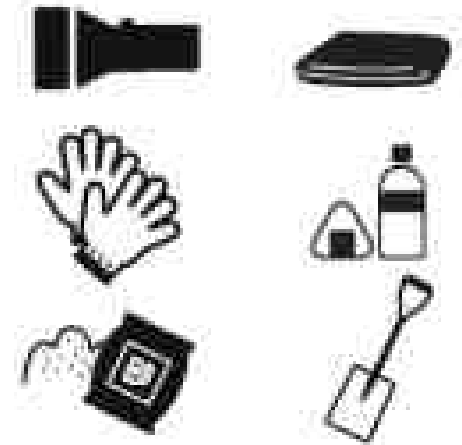
①外出自粛 (出控え)



②冬用タイヤ装着、 チェーン携行・ 早め装着



③冬用装備の携行



④広域迂回、 運行計画の見直し



⑤特に事業用自動車 の冬用タイヤ装着、 タイヤ摩耗劣化確認



⑥最新の気象情報、 交通情報の確認



【道路交通に関する情報】

◆iHighway中日本（NEXCO中日本）<https://www.c-ihighway.jp/>



◆日本道路交通情報センター（JARTIC）<https://www.jartic.or.jp/>



◆高速道路影響情報サイト <https://ex-ssw.com/>



◆道路情報提供システム <https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>



【道路管理者からの情報】

◆中部地方整備局ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/>



◆NEXCO中日本 ドライバーズサイト <https://www.c-nexco.co.jp/>



◆NEXCO中日本 公式X（旧Twitter）



・東京支社 https://x.com/c_nexco_tokyo

[東京・神奈川(東名・圏央道 茅ヶ崎JCT～相模原)・静岡(東名 豊川以東・新東名 新城以東・中部横断道 富沢以南)地区]

・名古屋支社 https://x.com/c_nexco_nagoya



[東海3県(新東名 新城以西・東名 豊川以西・東海北陸道 白川郷以南)・長野(中央道 伊北以西)・滋賀(北陸道 木之本以南)地区]

■高速道路ご利用の際は、スマホから交通情報を入手できるアプリ「みちラジ」をご活用ください。

・みちラジ概要 <https://www.c-nexco.co.jp/pdf/common/michiradi.pdf>



2024年度 NEXCO中日本の雪氷対策

中日本高速道路(株) 名古屋支社
令和6年12月4日



1. 2023年度冬期の主な事象(名神大規模滞留事象)
2. 大雪時の道路交通確保に対する考え方
3. 通行止め基準
4. 広域的な通行規制範囲の見直し
5. 行動変容を促す広報の強化
6. 情報提供ツール

1. 2023年度冬期の主な事象(名神大規模滞留事象)

「NEXCO中日本における降雪時の対応に関する検討会」会議資料から抜粋



- ・急激な気象変動に伴う路面悪化により発生したスタック車両を契機に大規模な車両滞留が発生
- ・気象急変に伴う強降雪に対して、実況に伴い通行止めを判断する基準が不明確だった

1. 名神(関ヶ原地区)の路線特性

<気象特性>

- 伊吹山地や鈴鹿山脈に挟まれた谷筋地形の影響で雪雲が集中・発達し、短期間の集中的な大雪が発生しやすい

<道路特性>

- 急な上り坂(最大勾配5%)が連続
- 冬用タイヤ規制実施が困難

<交通特性>

- 関西圏・中部圏を結び3万台/日を超える交通量
- 大型車混入率(約4割)が高く、雪道に不慣れな車両やノーマルタイヤ車両が多く通過

⇒ 降雪時の高速道路管理において難易度の高い路線



2. 名神(関ヶ原地区)の滞留事象概要

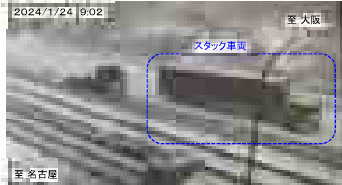
○2024年1月24日、JPCZ※1が関ヶ原地区に長時間停滞し、予測(最大5cm/h)を大きく上回る強降雪(最大14cm/h※2)を記録

○路面状況が急激に悪化し、9時02分にスタック車両が発生

○スタック車両や視界不良に伴い、下り6.6km、上り5.5kmの車両滞留が発生

○自衛隊及び岐阜県等から協力をいただきながら、除雪や物資支援を実施し、約19時間後に車両滞留が解消

■スタック車両発生状況



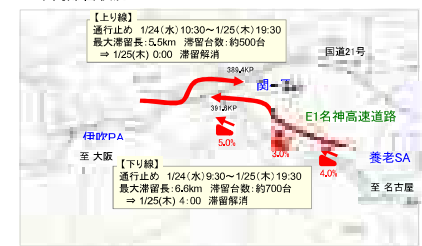
※1 JPCZ: 日本海寒帯気団収束帯 (Japan sea Polar air mass Convergence Zone)
冬季に日本海で形成される、長さ1,000km程度にわたる気団の収束帯のこと。この収束帯付近で対流雲が組織的に発達し、本州日本海側の地域では局地的に大雪となることがある。

※2 NEXCO中日本が設置した降雪計で観測

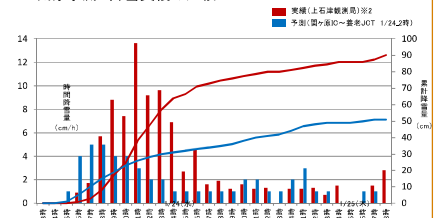
■乗員保護の状況



■車両滞留状況



■気象予測と降雪実績の比較



3. 「NEXCO中日本における降雪時の対応に関する検討会」で整理した内容

雪による通行止め基準の見直しに向けた考え方の整理

- ・当該地区の気象特性や降雪実績を踏まえ、路面状況と降雪量の関係性から、除雪後に黒路面を維持できなくなる降雪量を確認。この降雪量を実況降雪による通行止め基準に用いる新たな考え方を整理

通行規制基準設定の考え方

○通行規制(実況降雪に基づく通行止め)を実況降雪から判断

- 黒路面を確保できなくなる降雪量※から設定
- 【基準例】15分間降雪量(実況): 1.15~1.75(cm)

○通行規制(予防的通行止め)を気象予測から判断

- 黒路面を確保できなくなる降雪量※から設定
- 【基準例】時間降雪量(予測): 4.6~7.0(cm)

※急勾配箇所等でノーマル車がスタックするリスク

名神等で適用する通行止め基準については、2024年度冬期までに、適用するIC区間及び基準降雪量を名神・新名神冬期道路情報連絡本部の関係者で調整し決定する。

① 適用するIC区間

名神(関ヶ原地区)と同様の冬期気象特性を持ち、一体的に通行止めを実施すべき区間
(例: 名神大垣IC~東濃湖南IC等)を基本に検討

② 適用する基準降雪量

黒路面を維持できなくなる実績降雪量に変動幅があることを踏まえ、2024年度はスタック車両の発生を可能な限り抑制するための安全側での基準に設定し、毎年の路面状況と降雪データの蓄積・分析や、ハード対策実施後の効果検証を踏まえた基準の見直し(段階的な引き上げ)を検討

2. 大雪時の道路交通確保に対する考え方



従来の考え方

2020年度以前の基本的な考え方

- ▶ 自らが管理する道路を出来るだけ通行止めにしたない
- ▶ 高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし、道路ネットワークを確保すること



現在の考え方

2021年度からの基本的な考え方※

- ▶ 人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する

⇒ 空振りを恐れずに躊躇なく通行止めを行うことにより道路ネットワーク機能への影響を最小化

3. 通行止め基準



予防的通行止め	除雪能力を超過する強降雪が予測された場合に、自力走行不能車両の発生及びそれに伴う大規模な車両滞留の発生を防止するため、あらかじめ開始時間を決めて通行止めを行い、集中除雪による通行止め時間の最小化を図る目的で行う通行止めをいう
実況降雪に基づく通行止め	予測を上回る突発的な降雪によるスタック発生リスクに備え、冬用タイヤチェックを実施していない路線で、除雪後に黒路面を維持できなくなる降雪量が確認された場合に行う通行止めをいう
路面・交通状況による通行止め	上記によらず、路面・交通状況によって行う通行止めをいう

通行規制基準設定の考え方

○ 通行規制を実況降雪から判断(実況降雪に基づく通行止め)

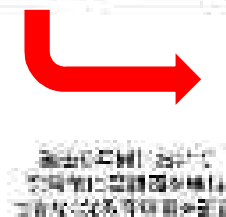
- 黒路面を確保できなくなる降雪量※から設定
【基準例】15分間降雪量(実況): 1.15~1.75(cm)

○ 通行規制を気象予測から判断(予防的通行止め)

- 黒路面を確保できなくなる降雪量※から設定
【基準例】時間降雪量(予測): 4.6~7.0(cm)
※急勾配箇所等でノーマル車がスタックするリスク

(P2から抜粋)

■ 路面状況(黒路面と白路面)

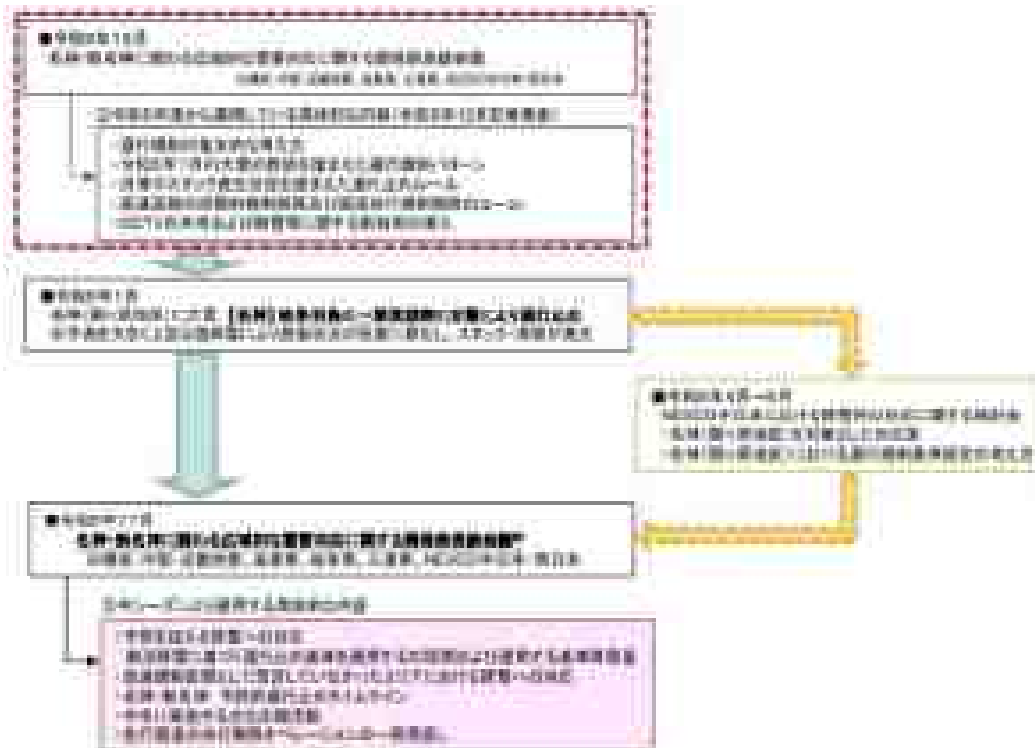


4. 広域的な通行規制範囲の見直し



2022年度に発生した新名神の大規模車両滞留事象を踏まえ、名神高速道路、新名神高速道路、京滋BPのいずれかで大雪に起因する通行止めが予測される場合、もしくは通行止めが発生した場合の規制パターン等を設定【過年度より適用】

名神・新名神に関わる広域的な雪害対応 検討経緯



滋賀南東部及び京都南部に大雪のため、名神もしくは京滋BPに降雪基準を超過する降雪が予測された場合の規制パターン



4. 広域的な通行規制範囲の見直し



昨年度の降雪状況を踏まえ、名神・新名神・東名阪・名阪国道が同時に通行止めとなった場合の通行規制を設定【今シーズンより適用】

■高速道路と国道の同時通行止め(イメージ)



5. 行動変容を促す広報の強化



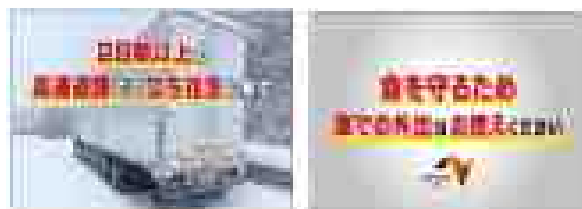
昨冬期は、ドライバーや荷主企業等に対する訴求力の高いメッセージの発信が不足していたことで、強降雪区間への十分な流入抑制が図れなかった。

今冬は、行動変容を促す広報を関係機関で連携して実施し、降雪時の物流車両の総量抑制を図る。

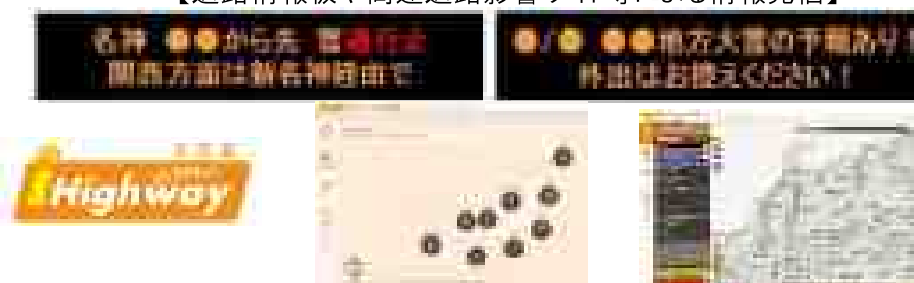
◆ 対応方針

- ① 降雪シーズン前や大雪予報時等適切な時期に危険性を十分に理解される広報
(わかりやすい情報コンテンツ、臨場感のある映像、出控え可能な適切なタイミング)
- ② 降雪時の物流車両の総量抑制が可能な広報(伝えるべき対象(荷主))に応じた対応)
- ③ 通行止め実施時の適切な行動変容を促す広報(道路ネットワーク全体としての迂回勧奨)

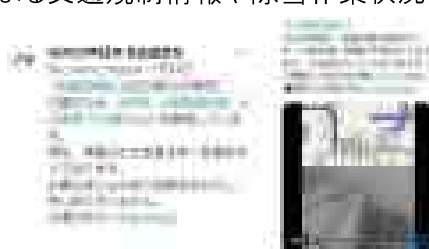
【緊急CM切替による出控えの要請】



【道路情報板や高速道路影響サイト等による情報発信】



【SNSなどによる交通規制情報や除雪作業状況等の情報発信】



【ETC2.0等を活用したプッシュ型の情報提供(経路選択支援)】



6. 情報提供ツール



■最新の交通状況を発信しています。お出かけ前にご確認ください。

1. ホームページでの高速道路の情報発信

『NEXCO中日本 ドライバーズサイト』



『iHighway中日本（アイハイウェイ中日本）』

【アドレス】

PC版 (<https://www.c-ihighway.jp/>)

スマートフォン版 (<https://www.c-ihighway.jp/smp/>)



『高速道路影響サイト』

【アドレス】

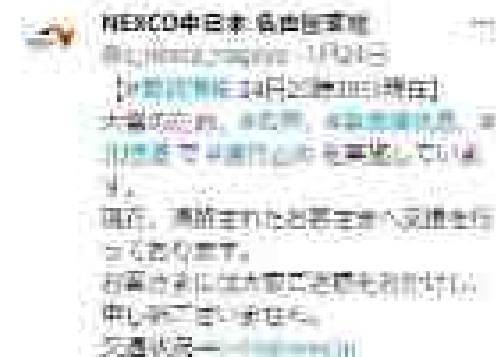
PC版 (<https://ex-ssw.com/>)

2. x（旧Twitter）での高速道路の情報発信

『NEXCO中日本 名古屋支社 Twitter』

@c_nexco_nagoya

https://twitter.com/c_nexco_nagoya



3. 冬道を安全にご利用いただくための情報発信

『除雪NAVI』

【アドレス】

<https://snowcar.vpis.jp/>



【iPhoneの方】



【Androidの方】

『みちラジ』



【iPhoneの方】



【Androidの方】

『冬の雪道ドライブガイド』

【アドレス】

<https://www.c-nexco.co.jp/special/snow/>



『目で見えるハイウェイテレフォン』

【アドレス】

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/main/>



名古屋高速道路の雪氷対策について

令和6年12月4日

1. 冬期の道路交通確保に向けた取り組み
2. 雪氷対策時における情報提供の強化
3. 降雪・積雪時の安全走行確保のための対策の強化
4. 名古屋高速道路をご利用されるお客さまへのお願い

1. 冬期の道路交通確保に向けた取り組み

～雪氷対策期間～ 毎年12月1日～翌年3月20日まで

【情報収集】

- ・気象情報の収集、道路パトロールカーによる路面状況の監視強化。

【精度の高い気象予測】

- ・気象情報や過年度データ等を基に、独自の気象予測モデルにより予測。
- ・降雪、積雪の影響に加え、道路特性に応じた無降水凍結発生の有無を予測。

【雪氷体制の強化】

- ・降雪が予想される場合は、原則として3日前より資機材及び人員確保の準備を実施。
- ・降雪、積雪量に応じた除雪計画の策定、除雪車両の増強、新たな雪捨て場の確保。

【お客様へのわかりやすい情報提供】

- ・雪による通行止め情報などを公社ホームページ、SNS（X（旧Twitter））スマホサイト等で提供。
- ・大雪が予測される場合、降雪3日程度前から、関係機関と連携して事前広報を実施。



2. 雪氷対策時における情報提供の強化

○名古屋高速道路の特徴を踏まえた情報提供

【特徴1】全体の約9割が高架構造のため、路面温度が低くなりやすく、路面が凍結する恐れがある。雪氷対策の期間中、凍結防止剤を散布する頻度が高い。

⇒凍結防止剤散布の散布理由や散布時の注意点について情報提供

【特徴2】都市内高速であるため、雪捨て場が限られ、除雪後も路面が凍結することがあり、通行止め解除に時間を要する。

⇒通行止め時間短縮に向けた取り組みについて広報を実施



2. 雪氷対策時における情報提供の強化

○雪氷対策時のきめ細かな情報提供

- ①雪氷対策期間中、凍結防止剤の散布予定を毎日17時に情報提供。
 - ②降雪の恐れがある場合、降雪3日前に、降雪予想・通行止め予想を情報提供。
 - ③通行止め・通行止め解除情報を提供。（除雪作業状況、開通見通しを情報提供）
- ※防災情報（通行止め）メールサービスにて登録者に通行止め情報をメール配信

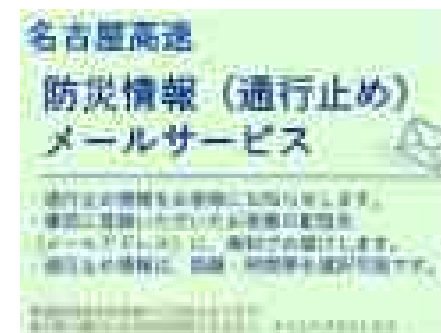
①凍結防止剤の散布情報



X(旧Twitter)



QRコード
X(旧Twitter)

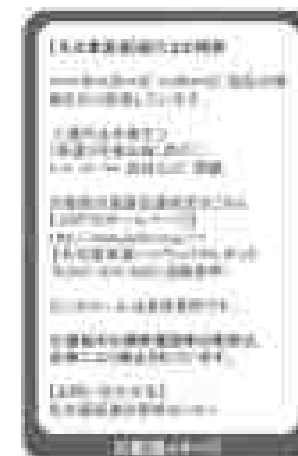
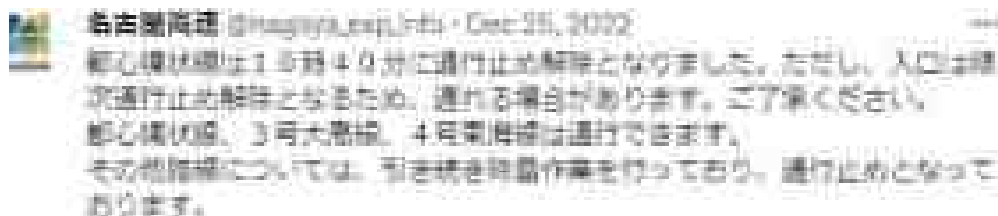


②通行止め、開通見込み情報



QRコード
(防災メール)

③通行止め解除情報



3. 降雪・積雪時の安全走行確保のための対策の強化

○安全通行確保のための対策について

- ①降雪が予想される場合や、気温が低く路面の凍結が予想される場合は、路面の凍結を防ぐため、事前に凍結防止剤（液）を散布。（写真1）
- ②雪が降り始めた場合は、凍結防止剤（液）を散布するとともに、空ダンプトラックを走行させ、タイヤ圧により融雪し、積雪を抑制。（写真2）
- ③路面に積雪する恐れがある場合は、数台連なった除雪車両により梯団走行させ、路面上の雪を路肩に排雪。（写真3）

<近づかないで！！ 追い越さないで！！>



写真1 凍結防止剤散布

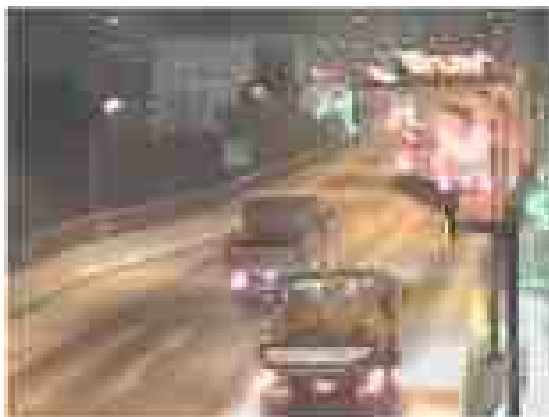


写真2 空ダンプ走行

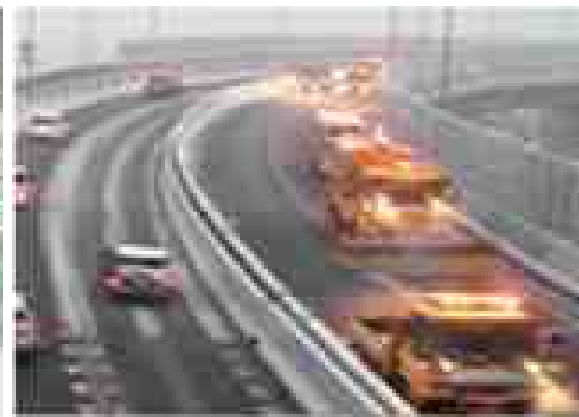


写真3 梯団走行

3. 降雪・積雪時の安全走行確保のための対策の強化

○定置式凍結防止剤散布装置の試行導入について

勾配が急なランプ部（特に北向きのランプ）は、特に大型車が路面凍結により走行出来なくなる恐れがある。

⇒ランプ部の路面凍結を防ぐ対策として、凍結抑制剤を路面に自動散布できる定置式凍結防止剤散布装置を令和元年度から試行導入。一定の効果が確認出来たため、北部路線の北向きランプを中心に増設中。



※赤線は薬剤を滞留させるための溝を示す

写真4 稼働状況（高速16号一宮線 一宮中入口）

○雪捨て場の確保

路肩幅が狭く、サービスエリア等もないため除雪した雪の置き場がない。

⇒自治体等関係機関に協力依頼し、高速道路沿線で雪捨て場を確保。

4. 名古屋高速道路をご利用されるお客さまへのお願い

【冬期の走行に備えて】

- ・冬用タイヤに履き替えましょう！
- ・最新の気象情報や交通情報を事前にご確認ください。
- ・タイヤの溝の深さ、空気圧のチェックをしましょう！
(溝の減り、空気圧の不足によりブレーキの効きが悪くなります。)
- ・バッテリーのチェックをしましょう！
(冬は、バッテリー上がりが起きやすくなります。)

【高速道路走行中】

- ・安全な走行を確保するため、路面凍結を防ぐ凍結防止剤散布作業、除雪作業を行っている場合があります。車間距離を十分にあげて、安全な走行をお願いします。

ご理解ご協力
お願いします。



通行止め等のお問い合わせ先

■名古屋高速お客様センター 電話番号 052-919-3200 (クイックさんに、まるまる)

営業時間 9:00~19:00 (年末年始12/29~1/3を除く)

※降雪により通行止めが発生している場合は、上記営業時間外でも道路交通情報をお答えします。

■名古屋高速ハイウェイテレホン(名古屋高速の道路情報) 電話番号 052-919-3232

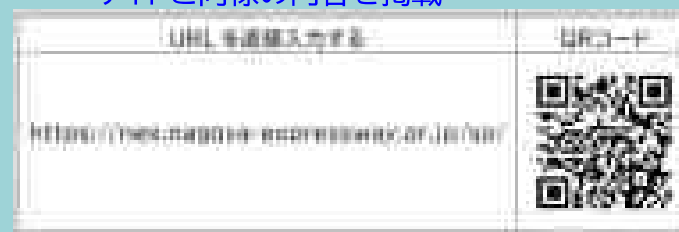
自動音声で5分ごとに最新の道路交通情報を提供しています。 ※令和4年度より、高速道路影響情報サイトを雪氷対策期間において運用し、スマートフォンサイトと同様の内容を掲載

■名古屋高速道路公社ホームページ

現在の道路交通情報をご覧いただけます。

■名古屋高速スマートフォンサイト

渋滞箇所や渋滞長、所要時間、通行止めなどの道路交通情報を右表のとおり、スマートフォンからご覧いただけます。



合同記者会見説明資料

国土交通省 中部運輸局
令和6年12月4日

【自動車使用者・道路運送事業者向け】

- ①「雪道での立ち往生に注意！」
～大型車の冬用タイヤとチェーンについて～
- ②「冬用タイヤの溝深さに注意！」
～大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点～

【荷主・道路運送事業者向け】

- ③ドライバーの命と大切な荷物を守るために！
異常気象時は運行中止も視野に・・・

【運送事業者向け】

- ④年末年始の輸送等に関する安全総点検
(令和6年12月10日～令和7年1月10日)

【公共交通利用者向け】

- ⑤公共交通機関の運休、遅延について

【訪日外国人旅行者向け】

- ⑥参考となるWEB情報等

①「雪道での立ち往生に注意！」 ～大型車の冬用タイヤとチェーンについて～

国土交通省 国土交通省

雪道での立ち往生に注意！

～大型車の冬用タイヤとチェーンについて～



- ❶ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❷ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❸ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監督を行い、**適切な措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

冬用タイヤの選び方

- ❶ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の積雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- ❷ 積雪を覆うほどの**過剰な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記(国内表記)又はスノーブレークマーク(国際表記)**が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーブレークマークの例
タイヤの側面に表示されています。

冬用タイヤの使用限度

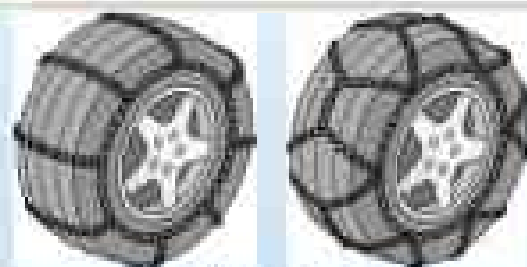
- ❶ **溝深さが50%以上残っていること**を「**ブラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



溝の深さを確認する際は、タイヤの側面に表示されている「溝の深さ」を確認してください。

チェーンの効果

- チェーンを駆動輪に装着すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・制動性能**が向上します。
- チェーンのサイズや締め方が不適切な場合、タイヤとの間で**滑り**が生じ効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けてみましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

性能限界

- 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界**があり、**万能ではありません**。例えば、車両のバンパーに接触するような**新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

- 以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付添の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、駆動性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール等の機能が搭載されていない。

〔自動車を安全に使うためには〕—
自動車を安全に使うための注意点を掲載しています。



国土交通省
自動車部 企画・リコー・スズキ



②「冬用タイヤの溝深さに注意！」 ～大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点～

冬用タイヤの溝深さに注意！

～大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点～

- 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するなど適切な措置を講じてください。
- 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監督を行い、**残った溝深が不十分と判断されれば格別の対象**となります。

積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**

⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと車動が安定しません。

冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ**50%**を示す「**フラットホーム**」で、運行前**必ず確認**してください。（一部海外メーカー品は除く）

積雪・凍結道路での運行前に、**運転上の注意点を把握**

- ⇒ 積雪・凍結道路においては、
- ・低速ギアでゆっくり発進
 - ・坂道を登り終わるまでギアチェンジしない
- など、運転操作の注意が必要です。



フラットホームとは？

■フラットホームとは

この部分に溝が浅く溝深が浅くなることによって、溝が浅くなったタイヤとして使用可能の限界は、新品時の50%程度とされています。この溝深を指す部分に溝が浅くなると、溝が浅くなった部分に溝が浅くなるという状態になります。



■フラットホームの位置

フラットホームの位置は、タイヤの断面図に示すように、溝の浅くなる部分に溝が浅くなるという状態になります。



この溝深さが「フラットホーム」に達しないよう、冬用タイヤとして使用してください。

運転上の注意点

- ① 低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- ② 急坂道では登り終わるまで低速ギアを使用し、ギアチェンジしない。
- ③ 急発進、急加速、急減速及び急停止は避ける。あらかじめブレーキ。
- ④ カーブに入る前に減速する。速度は控えめ。十分な車間距離。
- ⑤ 冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は過心の注意を払う。
- ⑥ 冬用タイヤを乾燥路や凍結路で使用する場合は走行速度に注意する。

国土交通省
中部運輸局
【機密性2】

▶▶▶ 荷主勧告制度

[illegible]

④年末年始の輸送等に関する安全総点検

(令和6年12月10日～令和7年1月10日)

大量の輸送需要が発生し、輸送機関等に人流・物流が集中する年末年始は、ひとたび事故等が発生した場合には大きな被害となることが予想されます。

そのため国土交通省では、陸・海・空の輸送機関等が安全対策の実施状況等を自主点検することにより、公共交通の安全を図るとともに、輸送機関等の安全に対する意識を高めることを目的とする「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の取組を実施します。

安全総点検実施項目のうち

大雪に対する輸送の安全確保の実施状況 について(自動車交通関係)

- ★大雪警報等の気象情報や道路における降雪状況等を適時に把握することにより、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行える体制を構築しているか。
- ★冬用タイヤの溝の深さが、タイヤ製作者の推奨する使用限度を超えていないことの確認を行っているか。
- ★大雪及び暴風雪に備え、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等、輸送の安全確保が図られているか。



⑤公共交通機関の運休、遅延について

- ◆ 今後の天候状況によっては、各公共交通に運休や、長時間にわたる運転見合わせが発生するおそれがあります。
- ◆ 今後の気象情報と各公共交通機関の運行状況にご注意ください。
- ◆ 天候によっては、計画が変更になる場合がありますので、最新の情報をご確認ください。
- ◆ 実際の運行状況は、各社ホームページでご確認願います。
- ◆ また、運転再開時のご利用に際しては、大変混雑する場合がございます。お時間に余裕を持ったご利用をお願いいたします。

主な鉄道各社

JR東海

東海道・山陽新幹線運行状況 (jr-central.co.jp)

台風の接近に伴う列車の運行状況等について | JR東海 (jr-central.co.jp)

JR西日本

JR西日本 West Japan Railway Company: トップページ (westjr.co.jp)

名古屋鉄道

運行情報 | 名古屋鉄道 (meitetsu.co.jp)

近畿日本鉄道

近鉄列車運行情報 (kintetsu.jp)

その他鉄道・路線バス、定期旅客船

中部運輸局

中部運輸局管内の公共交通機関(運行状況)ホームページリンク集 | 国土交通省

中部運輸局 (mlit.go.jp)

⑥参考となるWeb情報等

■訪日外客等への災害情報提供（日本政府観光局）

日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われています。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」（050-3816-2787）

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(X) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。災害時にはChatbotも利用可能。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」（Other内）・・・災害情報、災害時に役立つ表現 等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※ダウンロード用URL : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



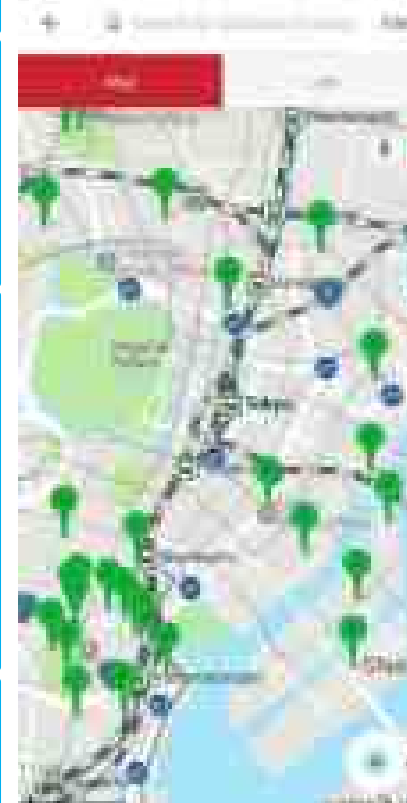
○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※詳しくはコチラ➡ https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html

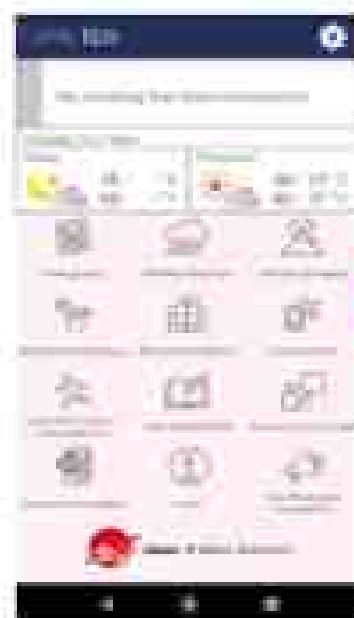


プッシュ型情報発信アプリ「Safety tips」



- ・自然災害の多い日本において訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう、平成26年10月から提供を開始した観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ。
- ・日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、噴火速報、避難情報、熱中症情報、Jアラート等をプッシュ型で通知できる他、対応フローチャートやコミュニケーションカード等、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を掲載。

・地震発生時のプッシュ通知



通常時



緊急地震速報プッシュ通知



取るべき行動

【対応言語数】:15言語

英語・中国語(簡体字/繁体字)・韓国語・日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語・タガログ語・ネパール語・クメール語・ビルマ語・モンゴル語



Android



iPhone

※本アプリは無料